



事故は偶然に非ず

新井俊一師



月に1回やっている「仏典講読の会」に来てくださる若い男性から次のような質問をいただきました。さる8月18日の日中に雷雨があり、近所に落雷がありました。そのときにたまたま北九州から来ておられた若い女性が二人雷に当たって亡くなられたそうです。その夕方に予定されていたコンサートのために大阪に来て、コンサートを大変楽しみにしておられたそうです。それで彼の質問は、お二人の死は無意味なものだったのか、このような不条理な死をどう理解するべきか、というようなものでした。

これは大変難しい質問です。そんなことよりも、雷に当たって亡くなられた若い女性二人のことを思うと、本当に悲しくなります。ご家族や友人の方々の悲しみはいかほどでしょうか。

いわゆる事故というものは、私たちがいくら注意深く生活していても起こるものです。見知らぬ人に突然切りつけられるかも知れません。道路を歩いていると、上から広告の看板が落ちてくるかも知れません。いくら正しい運転をしていても、居眠り運転のトラックにあてられるかも知れません。そう考えると、毎晩安穩に布団に入れるのが不思議なくらいです。蓮如上人も御文の中で「朝に紅顔ありて、夕に白骨となれる身なり」とおっしゃっています。

その女性達の死は全く意味のないものだったのでしょうか。先ず第一に留意すべきことは、私たちが「事故」と言っているものは、過去からの極めて多くの原因が積み重なって起こることです。何事も原因なくして起こりません。ただ私たちの智慧が足りないから、それらが突然起こるように見えるのです。ここで大切なことは、この質問をされた若い男性が、この事件から深い衝撃を受け、靈的に関わられたということです。この事件によって、彼は命の無常を体験しました。おそらく彼は、この命はいただいたものであり、大切に生きなければならないこと

11月の予定

- 3日(土) 10-4時 英語セミナー
ご講師 今村りょう博士
エバグリーン・ステート大学
- 4日(日) 10時 永代経無縁法要・お稚児
10時45分 日本語プログラム
- 11日(日) 10時 家族法要・子供法要
10時45分 日本語プログラム
- 12日(月) 事務所休み
- 18日(日) 10時 家族法要
10時45分 日本語プログラム
- 22日 23日(木-金) 事務所やすみ
- 25日 10時 家族法要
10時45分 日本語法要
ご法話 泉康雄師 アルバーター
- 1日(木) 1時半 日系マナー法要
- 15日(木) 1時半 日系マナー法要
- 27日(火) 10時 SBWA 敬老ホーム訪問
10時半 敬老ホーム法要

を学んだことでしょう。もしさまざまなことを学んだのであれば、彼のできることは、二人の女性が彼に人生の無常を教えるためにこの世に現れ、その使命を果たして浄土に還られた菩薩様達だ、と思って折に触れて思い出してあげることです。これは彼だけのことではなく、私も、このブログを読んでいる方も、その女性から大変貴重なことを教えていただきました。

ところで「事故」というのは悪いことばかりではありません。「幸運」にも、宝くじに当たるかも知れません。（宝くじを買っておればの話ですが）。私たちは「幸いにも」仏法に出遇いました。私たちがこの世に生まれたのも、私たちの想像も理解も超えた「ご縁」のおかげでしょう。全体として、この世で私たちの持っているもの（命も含めて）はすべて頂き物なのです。そうすれば、おそらく「死」もそうでしょうね。

（10月12日2012年）

先生の略歴：相愛大学名誉教授、文学博士（ハワイ大学）、浄土真宗本願寺派教師。



会長の挨拶

森久保ゆきお

「ロッキン」と「宗教プログラム」というのは同じ文章に属さないみたいですが、シアトル別院では合うのです。宗教部のお陰で別院では、その豊かで多様なプログラムの恩恵を受けています、それは浄土真宗の文化的な線を広めるのと21世紀のアメリカに我々を適合させることを深めます。

いくつかのハイライトが思い浮かびます。今年の初めに部は仏教音楽のテーマで別院春のセミナーを計画。中林ケミ、カーペンター・ラニ、などのリードでこの意欲的なイベントを計画、実行しました。この人たちの努力、また州外のフレンドのブリッジ・ハリー師とルイス・ディー氏の貢献により私たちは別院での法要やセミナーでは見られない画期的な経験を楽しみました。それは「シスター・アクト」ではありませんでしたが、それに近いもので、仏法を伝え、理解することの新しい門を開きました（すくなくシアトル別院に於いては）。

また今年の初めには星野アラン、宗教部部長、が赤星ケンジ先生の長期ステイの実現に力を注がれました。赤星先生はリタイアの歯医者で仏法を深く理解され、仏教を抽象的な構想に翻訳することにヘルプされています。特に浄土真宗を現代のモダンな英語を話すひとにも解る言葉に訳されることに務められました。先生はニュー・イメージと文化的引用を推進することを手伝われており、それは浄土真宗の原理を日本の文化に薄い世代にも伝えやすく出来る手助けをしておられます。

そしてつい最近には力強い女性たちのリーダーのもと、後藤アイリーン、和田真知子、八幡しずえ、上西ゲール、オックスライダー・アンが秋の女性のためのセミナー「キリスト教国の中に仏教徒として生きる」と題したコンフェレンスが催されました。3人の著名な女性教師—スー・シャーレン博士（シアトル大学）、大下パティ師（ sacrament 仏教会）、谷口昌陽師・博士が主のスピーカーでした。この示唆に富むコンフェレンスには100人以上が参加しました。他の宗教では女性の役割についての論争が多いのですが、この日はフェミニストなどの考えから離れて、理解と自己認識を促進することについて焦点を合わせてました。



この様なシアトル別院の宗教プログラムを活用されるように願います。プログラムは皆さんに参加していただいてこそ生きてきます。

私達の宗教部は全員奉仕者です、私達みんなが仏法の知識の宝庫を得られるように努めています。宗教部の奉仕部員全員に感謝します。そしてその他のメンバー、ダイナミックな適合したプログラムの為に時間と努力、創造的エネルギーを施す方々にも感謝します。 ごくろうさま。

シアトル別院秋のセミナーを終えて

シアトル別院秋のセミナー「キリスト教国のなかに仏教徒として生きる」と題した女性の為のセミナーは大成功に終わりました。多くの女性と少数の男性 100 人以上が出席してくださいました、アンケートにも「とてもよかった」「いろいろ学ぶことが多かった」と喜んでいただきました。当日は BWA の恵信尼公/覚信尼公 顕彰法要にちなんでの催しで BWA はサクラメントより大下パティエー師をお招きしてのセミナーでした。日本語は一回のセッションでしたが谷口昌陽先生にサウス・アラメダよりお越し頂き、とても有意義なご法話をしてくださいました。先生はとくに日本語のメンバーのために英語とは違うお話を用意してくださりありがたいことでした。また日本語のメンバーの方々は短い時間しか取れなかったのにもかかわらず多くの方々が出席されました深く御礼申します。また別院クワイアーの曲も新潟から頂いた美しい歌でした。

当日は中野順子さん、川原律子さんにランチと後片付けにお世話になりました。また藤井藹子さんと道堂原芳枝さんには先生方のお接待をお願いしました。多くのスナックの寄付をいただきました。他にも森久保夫妻が朝からコーヒーとお茶の用意をされ、加藤エドにはマイクやビデオ一切面倒みていただきました。谷口あきには写真をまた中野ジョーンには他すべてにお世話になりました。ありがとうございました。また当日の詳しい内容は英語面にあります。

和田まちこ

婦人会便り

会長のメッセージ

馬場ジャネット

女性に焦点を当ててのセミナー：9月29日に初の秋季仏教女性セミナー、「クリスチャン社会に於ける仏教徒として：女性に焦点を当てて」がシアトル別院主催、別院婦人会後援で開催され、数名の男性を含めた 100 名以上の参加者を得て大成功の裡に終わりました。ご講師方は南アラメダ・カウンティ教会の谷口昌陽師・博士、シアトル大学のスー・シャロン博士、そしてサクラメント教会の大下パティエー師でした。セミナーはシャロン博士のオープニングメッセージで始まり、三名のご講師方が夫々3セッションを担当し、質疑応答のパネル・ディスカッションでセミナーが閉められました。シアトル別院クワイアーの歌の演奏もありました。セミナー委員会会員はカスタロ輪番を台頭に、後藤アイリーン、上西ゲール、オックスライダー・アン、和田真知子そして八幡静江の方々でした。



恵信尼公/覚信尼公顕彰法要：9月30日の英語法要にて大下パティエー師から、日本語法要にて谷口昌陽師・博士から夫々感動あるご法話を頂きました。皆様から頂きましたこの日のご献志は別院の青少年達の団体に寄附されます。

米国仏婦連盟大会：10月12-14日に Coast District の主催で「入海の如く一味なり」の題で、第42回大会が、サンノゼ、加州にて開かれ、カスタロ輪番の引率で22名の婦人会会員が出席。460名の会員、そして開教使方、家族達がこの大会に集まり、数ある種々の有意義な workshop にて、ご法義を深めました。

オリオン・センター・デナー奉仕：9月21日、婦人会会員、フローレンス・グエン、須坂ゲール、梅田スザンネ方が下記の方々の援助を得て、35名のホームレス青少年達にデナーを調製し接待する奉仕をしました：フローレンス・ジェームソン、フローレンス・ケルシー、森口タイラー、そしてウィック・マリアンネ。

日本食料理クラス：10月10日に堀川のりぎくによる炊き込みご飯の級が持たれ、8名の会員が秋に最適のご飯の調製を学び、又このレシピで松茸ご飯の調製を出来る事も学びました。
次回のクラスは10月24日、清水ダーリンの指導に依るスタンピング・アップ・カード作製。そして、11月7日、清水チョーに依るメデケア最新情報を学ぶクラスです。興味有る方は事務所の向かいの用紙にサインアップして下さい。

11月行事予定

- 4日(日) 婦人会理事会議
- 18日(日) 婦人会総会/理事慰労会
- 25日(日) 婦人会理事会議(12月分)
- 27日(火) シアトル敬老訪問(10時)、法話(10時半)

通信書記(日) 新保エツ提出

秋の女性の為のセミナー スー博士、大下師、谷口師



堀川徳禧久指導の炊き込みご飯



FBWA コンフェレンス出席者 サン・ホゼ 10月12-14日

